

「新しい東北」交流会 in 郡山・平成 28 年度学生ボランティア促進キャンペーンイベント 「これからの『復興』 ～『新しい東北』へつなげるために～」 参加団体募集要領

1 趣旨・目的

東日本大震災の発生から 5 年半が過ぎましたが、被災地でのボランティア活動に対するニーズは依然として存在しています。また、求められるニーズは、復興の進展や生活環境の変化により、細分化・多様化しています。

このような状況を踏まえ、復興庁では、平成 24 年度から毎年、大学生の方々を中心に、夏休みなどの長期休暇を利用した被災地におけるボランティア活動への参加を呼びかけるキャンペーンを実施しています。

また、学生ボランティア団体だけでなく、復興支援を行っている NPO 等の団体に対しても、活動を円滑に進めるために必要な情報の提供や連絡調整等、活動の支援を行っているところです。

このイベントは、東日本大震災からの復興に関する取組を行っている大学生や、NPO 等の団体が、相互の情報交換等を行い、取組の輪を一層広げ、連携する機会を作るとともに、日本アイ・ビー・エム株式会社による「プロジェクトマネジメント・ワークショップ」により、新規企画（プロジェクト）の立ち上げには何が必要なのかなど、これからの活動を行っていく上で役に立つ考え方を知ることで、取組をより一層持続可能なものとすることを目的としています。

2 イベントの概要（予定）

(1) 開催日時・場所

日時：平成 28 年 11 月 19 日（土）10:30～17:00

場所：ビッグパレットふくしま 〒963-0115 福島県郡山市南二丁目 52 番地

<http://www.big-palette.jp/07access/index-g.html>

(2) 実施内容

- ・各団体の活動紹介などの団体同士の交流会（1 時間半程度）
- ・日本アイ・ビー・エム株式会社によるプロジェクト・マネジメントを学ぶワークショップ※（3 時間半程度） など

※日本 IBM の現役プロジェクト・マネジャーによる講義と、自団体に関わる企画（プロジェクト）を題材とした実践的な演習を通じて、プロジェクト・マネジメント手法の概要を理解するとともに、プロジェクトの企画の「可視化」や管理のための共通概念の習得を目指す内容です（詳細は別添 1「IBM プロジェクトマネジメント・ワークショップ 概要資料」を参照。）。

など

3 募集する団体の要件及び当日の参加団体数

(1) 募集する団体の要件

次の要件をすべて満たす団体を募集します。

＜学生ボランティア団体について＞

- ・東日本大震災からの復興支援を目的としたボランティア活動をしている「大学生」で組織される団体。なお、「大学生」には、専門学校生も含まれます。
- ・大学の教員又は職員の推薦が得られる団体。複数校の学生が参加する団体については、当該団体の代表者（学生）が所属する大学の教員又は職員の推薦が得られる団体（専門学校生のみによって構成される団体については、専門学校の教職員の推薦が得られる団体）。
- ・特に、所在地が福島県内である団体。

＜NPO等の団体について＞

- ・NPO等の団体（一般社団法人、一般財団法人、任意団体など、復興支援を行っている団体）のうち、大学生を受け入れている、又は大学生を受け入れたいと考えている団体。
- ・特に、所在地が福島県内である団体。

＜全ての団体について＞

- ・上記条件に該当した上で、現在実施している、又は今後実施を予定している、開催時期、規模、内容等がある程度定まっている企画（プロジェクト）を持っている団体。（ワークショップに参加するにあたって必要となります。）
- ・必ず1団体2名又は3名で参加すること。（当日は団体の関わっている企画単位でワークショップに参加いただきます。1団体1企画でお願いします。）

(2) 当日の参加団体数（予定）

学生ボランティア団体、NPO等の団体併せて10団体程度から各2～3名程度参加いただく予定です。なお、当日の会場までの交通費については、自費負担をお願いします。

4 募集期間

平成28年10月26日（水）17:00まで

5 応募方法

本実施要領の別紙「応募用紙」に必要事項を記載の上、電子メールにて、上記4の募集期間内に必着で応募ください。応募の際は、次の点にご注意ください。

(1) 応募用紙等の作成

- ① 別紙「応募用紙」に必要事項を記載してください。また、応募用紙に記載しきれない場合や補足説明が必要な場合には、応募用紙とは別に説明資料を添付してください。
- ② 応募用紙及び説明資料については、すべて電子ファイルとしてください。こちらで読み取れるファイルの形式は次のとおりです。

○PDF ファイル (.pdf)

○JPEG ファイル (.jpg)

○MS-Word ファイル (.doc 又は .docx)

○MS-Excel ファイル (.xls 又は .xlsx)

○MS-Power Point ファイル (.ppt 又は .pptx)

なお、学生ボランティア団体の場合、応募用紙の1ページ目には推薦者の押印が必要です。このため、応募の際は、押印されていることが分かるように、応募用紙をスキャナーで読み取る等して、PDFファイルで送付してください。

(2) 電子メールの送信

- ① メールの件名を「【応募】 ボランティアキャンペーンイベント（郡山）」としてください。
- ② メール本文に、次の内容が分かるように記載してください（様式任意）。
 - ア 応募団体の名称
 - イ 代表者氏名（ふりがな）
 - ウ 代表者の連絡先（電子メール、電話番号）
- ③ 応募用紙及び説明資料のファイルサイズの合計が 5 MB 未満の場合は、これらのファイルをメールに添付して送付ください。ファイルサイズの合計が 5 MB 以上になる場合には、メールにはファイルを添付せず、上記(2)②の事項に加え、「5 MB 以上の添付ファイルがある」ことをメール本文に記載してください。折り返し、ファイルの送付方法をご連絡します。
- ④ 応募メールは、復興庁ボランティア・公益的民間連携班(i.volunteer@cas.go.jp)あてに送信してください。

6 参加団体の選定

当日参加していただく団体については、主に次のようなポイントを踏まえ、復興庁において選定します。

<評価のポイント>

- ・ 応募団体のこれまでの活動内容と活動結果の分析ができているか。
- ・ 現在実施中もしくは今後取り組む予定の具体的な企画（プロジェクト）を持っているか。
- ・ 今回のイベントに参加して何を得たいと考えているか。また、得たものを今後、どのように活かしていこうと考えているか。
- ・ 参加するに当たっての意気込み。 ほか

7 参考：平成 28 年度の学生ボランティア促進キャンペーンのテーマ

東北の「いま」を知る。東北で「これから」を考える。さあ、共に。

このテーマは、平成 27 年 10 月に仙台で開催された「新しい東北フォーラム in 仙台」の一企画として実施されたボランティア・ワールドカフェ「東北からのメッセージ」に参加した東北地方の高校生・大学生が、同世代の人たちに向けて発信するメッセージについて話し合い、取りまとめたものです。

当時、東日本大震災発生から 5 年を迎えようとしている中で、「改めて東北の現状を知ってほしい」、そして、「この先のことを東北に来て一緒に考えてほしい」という思いが詰まったメッセージです。

8 その他

- ① 応募された資料等は返却しません。
- ② 応募者の連絡先等は、本イベントに関する連絡等に用いるほか、今後、復興庁で大学生・NPO等を対象とした催し物を開催する場合などの情報提供に利用させていただきます。それ以外の用途では使用しません。

以上

【問い合わせ先】

復興庁ボランティア・公益的民間連携班

電話：03-6328-0274

電子メール：i.volunteer@cas.go.jp